

協議会だより

発行・編集 大阪障害者スポーツ指導者協議会 会長 松本 晃

大阪市東住吉区長居公園1-32

大阪市長居障害者スポーツセンター内 TEL 06-6697-1402 FAX 06-6697-8613

平成15年9月1日発行

第46号

会員の皆様へ

会長 松本 晃

会員の皆さん、いつも協議会の活動にご協力いただきまして、ありがとうございます。

毎年4月から8月に大きなスポーツ大会が集中し、協力していただいている皆さんには、忙しい思いをおかけしている事とと思います。しかし一方でボランティア・スタッフの集まりやすい大会とそうでない大会があり、人員のやりくりに苦労しています。

原因としては協力していただける会員の方がいる程度、固定化してきているという事と「知らない競技のお手伝いをするのは不安！」という気持ちが強いからではないかと思えます。



研修会の報告

研修部 中野 薫

6月7日土曜日、13時よりファインプラザ大阪において陸上研修会を行いました。集合時点では雨も降っており、当初予定していたグラウンドでの研修ができなくなり、館内にて行いました。まずは、車椅子の種類とその特性の講義をして頂き、スポーツする種目によって車椅子の種類が多種多様であり、参加者の大半が興味深く講義を傾聴されました。1時間後に、雨もやみグラウンドに移動。実際に車椅子に乗って体験することができ、スラローム（車椅子）・投擲（こん棒・ビーンバック）などの競技ルールの実体験ができ、有意義な研修会となりました。今回の研修会の参加人数は、16名と少なかったが、フローバレーボール大会のボランティア派遣と重なり、協議会会員の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。今後は他のスケジュールと重ならないよう気をつけていきたいと思えます。

協議会としては、これらの問題を少しでも解消していくため積極的に色々な競技の研修会・講習会を実施し、合わせて、きめ細かい広報活動を通じて、ひとりでも多くの人が大会ボランティアに興味を持ち、参加しやすい環境を作るよう努力していきます。

体制強化の一環として平成14年度の総会後から井上功さん、高橋実代子さん、松浦春代さんの3名の方々に理事会の協力メンバーとしてお手伝いしていただいています。今後の協議会としては、もっと地域に根ざしたボランティア活動にも力を入れていきたいと考えています。ご協力よろしくお願ひ致します。

研修部よりお知らせ

次回の研修会 「水泳の実技と講義」 秋ごろに予定

- ✿ 早く80kgをきりたいなあ
- ✿ 今日は仕事で忙しく疲れた。会議中各人が話してる。まとまりにくいなあ
- ✿ 理事会始まる時間、6時30分頃からやったら、もっと色々な話が。。。時間気にしないで、できるかも
- ✿ 今日も一日が終わった明日もがんばろう
- ✿ 会議中、水かお茶が、あればうれしいなあ
- ✿ 休みがほしい！！
(理事会後、理事のみなさんに只、只、つぶやいて、頂きました)

✿ ぐさやき ✿

フロアバレーボール 知ってます？

1チーム6人制で3名のフロント（前衛）と3名のバック（後衛）競技者（晴眼者も可）で視力の程度に応じて役割も分担されたチームプレーの競技です。

《基本技術》 フロント競技者

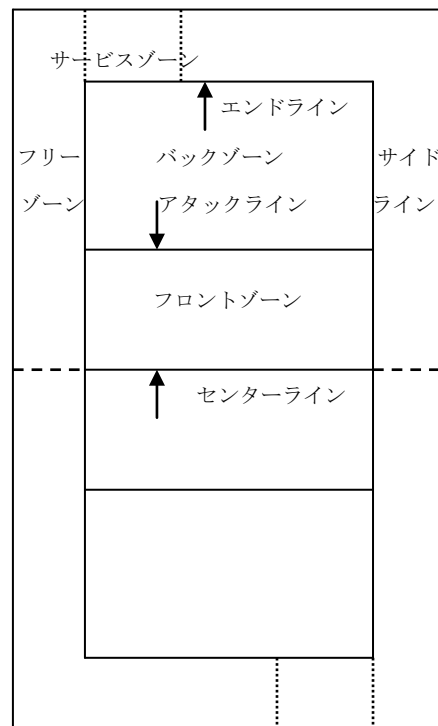
アイマスク（又は専用ゴーグル）を着用し、主にしゃがんだ姿勢でプレーします。サーブやスパイクなどは、転がってくるボールを、一方の手の平で一度押さえて止め、押さえたまま他方の手（握り拳）で打ちます。

バック競技者

立った状態でプレーします。ボールは、押えたり止めたりせず、転がっている状態を直接握り拳で打ちます。

《ルール》

試合は、サーブによって始まり通常のバレーボール同様、ブロックを除き、3回以内で相手コートに、ボールを打ち返します。得点は、ラリーポイント方式で行われ、21点（又は15点）3セットマッチで2セット先取したチームの勝ちとなります。（スポーツセンターだよりから引用）



チーム紹介 大阪市モッピー

監督 清水健司（長居スポーツセンター指導員）

モッピーズのメンバーは、バレーボールとお酒とおしゃべりが大好きな13人のおばちゃま軍団。また、影の大黒柱であるボランティア審判員の皆様方を抜きにはモッピーズは成り立ちません。次に強さかというと・・・数々の大会で上位入賞を果たしているモッピーズ。去年の同大会も堂々3位。今年こそは優勝を！といきこんで望んだ今大会・・・ところがまさかの初日予選負け。しかも、1セットすら奪えず・・・いつも冗談が飛び交うわがチームも、このときばかりは終始無言。平均年齢「58.8才」！？のとびきり元気なおばちゃま軍団もやはり年齢には勝てないのか、他チームとのボールスピード、パワーが違うことは明らかで、初めて他チームの試合を見た私も驚いた。まるで日米野球を見てるような感覚に襲われ・・・。今後はいかにして他チームのパワーとスピードに勝つのが大きな課題。「今度こそ、優勝を！」を合言葉に、橋本キャプテン中心に毎週2回の練習に取り組み中。皆さん応援よろしくお祈りします。

第3回クイーンカップ

全国フロアバレーボール選手権大会

平成15年6月7日（土）・8日（日）大阪市舞洲障害スポーツセンターで行われ第1日目は開会式後6試合が行われた。2日目は、準決勝・決勝と静かな中にも気迫があり観ている者を引き付けた。

優勝 MAX 新潟
準優勝 フレッシュ岡山
第3位 F・Lions



掲 示 板

「おすすめの1冊」

著者 高橋 明



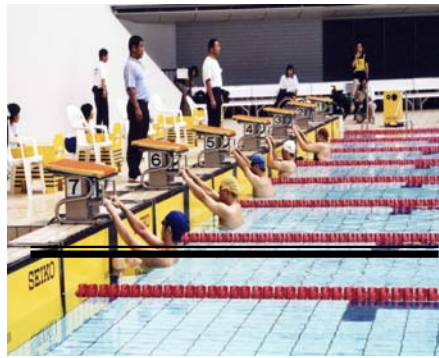
今年度の目標、「情報提供ができるように」広報部員一同、がんばりますので、よろしくお願い致します。また、ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

編集後記

ジャパンパラリンピック

水泳競技大会

2003. 8/16・17



平成 15 年 8 月 16 日 (土) 17 日 (日) なみはやドームでジャパンパラリンピック水泳競技大会が行われた。今年のジャパパラは、いつもの大会とは一味違う。国際大会のクラス分け委員を招き、セミナーを行った。なぜなら、パラリンピックを目標にするならば、IPCのクラス分けが必要となり、一定の条件にみあってなければならぬ残念なこと

とに、国内の現状ではIPC公認の大会がない。全世界のマニュアルでクラス分けをしているが世界に出ると合わない時もある。本来、海外に行きクラス分けを行わなければならない選手達が今回IPC公認のクラスを受ける事ができた。

第3回 大阪市障害者スポーツ大会

2003. 5. 25

吉田 恵一

大阪市長居第2陸上競技場で陸上・フライングディスクが行われた。私はフライングディスク競技を担当しました。曇りで風が強い肌寒い環境の中、全国大会の選考会も兼ねている事もあって選手は風向きを気にしながらも競技は始まった。競技はアキュラシーの部、ディスタンスの2種目で24区の代表者が参加し良い成績も出ました(ディスタンスは上手く風のにり68m距離が出ました)参加人数は大会申し込みは22名で当日欠席者もいて寂しいなか協議審判員(9名)は余裕を持てたようでした。

第14回 日本身体障害者

陸上競技選手権大会

2003. 6. 22



上園有香選手

アテネを目指して!! 長居競技場において開催。今大会はアテネパラリンピックの選考大会とあって選手約210名の参加があり、それぞれ力を発揮。やはりアテネ選考大会! 選手の色が普段の大会と比べて違っているように感じた。

しかし、パラリンピックの標準記録を突破した人は少なく、そのレベルの高さには驚かされてしまう。また、アテネパラリンピックの中間候補者(陸上競技)の60人が発表され、大阪からは4人が選ばれた。



大阪障害者スポーツ指導者協議会

ボランティア



ジャパパラのボランティアは受付・連絡係り・入退水などいろいろあります。どれを担当しても大変です。けれど皆さんは、連日にも関わらず笑顔で迎えてくれます。

給水担当は、結構大変!! タイミングもあって。この日の天気は雨。お疲れ様です。



競技規則のわからない種目はちょっぴりボランティアも不安になります。けれども遠慮せず、まずは交流を深めるためにそして楽しくスポーツができるように参加しましょう。

障害者自転車講習会

2003. 6. 15

河内長野市にあるサイクルスポーツセンターにおいて身体障害者3名、知的障害者2名の方が参加されました。今まで障害者の人が自転車競技をやること自体考えにくいことでしたが、やればできるものだなあと思いました。この日は大阪府の自転車連盟の練習会とあって高校生から国体選手が一生懸命に練習をしていました。その中で参加者の一人が昔、この競技をやられた経験があるという人がおられ現役選手と一緒にバンクを走った際には驚かされました。

そのあと、参加された障害者全員が一周400mのバンクを一生懸命走っていました。たしかに、自転車競技という障害者には難しいと思われるかもしれませんが自転車の種類様々で、自分にあつた自転車があれば多少の障害があっても走れるのではないかという思いがした。

第8回 全日本障害者

フライングディスク競技大会

2003. 8. 3

夏の日差しが照りつける中、平成15年8月3日(日)東京駒沢陸上競技場において第8回全日本障害者フライングディスク競技大会が開催されました。毎年この大会は参加人数が増加している中、今年は1000人を越える選手と300人以上のボランティアが参加され盛大に行われました。

大会はというと、個々のレベルが急速に上がり特にディスタンス競技は数年前までは30m投げれば上位だったのが今大会は50m、60mを投げないと勝てないというのは特筆すべきではないでしょうか。それだけレベルが向上する理由としては、フライングディスクのクラブが全国的に普及し地域の福祉政策と密着してきている要因があるのではないのでしょうか。来年の大会はより以上のレベルになるのではないかとと思われ、同時に全国大会に影響をあたえるのだと思います。

第2回大阪府障害者都市

対抗ビームライフル射撃大会 2003. 8. 3



大会は個人と団体戦が実施されビームライフル10射座で、激しい戦いが行われたが新人選手がベテランの選手を押えて優勝するなど大変におもしろく、ダブルスでも射撃技術の高さを競い合い、見学にみえられた地元大東市の議員さん達も目をみはる勝負を繰り広げた。